

特定非営利活動法人 NPO 法人口から食べる幸せを守る会

平成 26 年度年次報告書

# 平成 26 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会

## 1 事業の成果

広く一般市民に対して、口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業は計 2 回の大会・研修会を開催し、全国、各地の医療・福祉関係者、一般市民等に普及・啓蒙を行った。会員数は 5 月 31 日現在、個人会員 229 名（継続 127 名・新規 102 名）、団体会員 8 団体、賛助会員 9 団体となった。

口から食べるのが困難な方に対する支援に関する事業は、事務所において電話・メール・FAX 等での相談、症例によっては対応可能な医療機関、医療従事者を紹介しその後の支援へと繋げていった。口から食べるのが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業は、計 14 回の実技セミナーを開催し、口から食べるのが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。参加者は延べ 422 名になった。

しかし、実際の臨床の場で対応できる人材が不足しており、当法人で実技認定制度を行うことで、各地域での実技セミナー開催が可能となり、経口摂取継続に必要なケア技術や指導力の向上が図れると考えた。加えて、各職種からの専門的な知識・技術を共有でき、口から食べ続けたいと願う当事者や家族へ実践的 サポートができる人材の拡充になる。この認定制度による実技認定者は 36 名になった。

口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業は、会員間での情報交換の場の提供、連携の補助を行った。これらの事業により全国各地での“口から食べること”を普及させるための事業を推進した。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業

- ア 第 2 回大会
- ・ 内 容 保健、医療、福祉、行政、当事者・家族、関連するメーカーなどが一同に会し、“口から食べて幸せに生きる社会”を実現し、幅広く公益に寄与するための道筋を作ることを目的とし、参加者による講演、ポスター発表、メーカーによる展示を行う会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2014 年 7 月 12・13 日（土）（日）
  - ・ 場 所 神奈川県立保健福祉大学
  - ・ 従事者人員 100 人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者、一般市民 総数 300 人
  - ・ 支 出 額 1,926,172 円

- イ 沖縄研修会
- ・ 内 容 口から食べることの幸福感や重要性について普及・啓発 活動、口から食べるのが困難な方への支援、全国ネットワークを構築していくための活動の一環として沖縄地区の医療従事者による情報発信、情報交換の場として、講演会、討論会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2014年7月26日(土)
  - ・ 場 所 那覇医師会那覇看護専門学校
  - ・ 従事者人員 20名
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 150名
  - ・ 支 出 額 83,037円
- ウ 岡山研修会
- ・ 内 容 口から食べることの幸福感や重要性について普及・啓発 活動、口から食べるのが困難な方への支援、全国ネットワークを構築していくための活動の一環として中部地区の医療従事者による情報発信、情報交換の場として、講演会、討論会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2014年10月12日(土)
  - ・ 場 所 岡山国際交流センター
  - ・ 従事者人員 25人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者、一般市民 70人
  - ・ 支 出 額 317,332円

② 口から食べるのが困難な方に対する支援に関する事業

- ・ 内 容 口から食べるのが困難な方及びその家族を対象とした、治療・介護・保険制度等について、電話・メール・面談等による相談の受付及び情報の提供
- ・ 開 催 日 通年
- ・ 場 所 法人事務所
- ・ 従事者人員 2人
- ・ 対 象 者 口から食べるのが困難な方及びその家族 相談総数 50件
- ・ 支 出 額 0円

③ 口から食べるのが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業

- ア 第6回沖縄実技セミナー(基礎コース)
- ・ 内 容 口から食べるのが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2014年7月26日(土)
  - ・ 場 所 那覇医師会那覇看護専門学校
  - ・ 従事者人員 20名
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 50名
  - ・ 支 出 額 341,642円

- イ 第7回東京実技セミナー（基礎コース）
- ・ 内 容 口から食べることが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2014年9月23日（土）
  - ・ 場 所 ラックヘルスケア株式会社 東京オフィス
  - ・ 従事者人員 10人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 32人
  - ・ 支 出 額 136,125円
- ウ 第8回秋田実技セミナー（基礎コース）
- ・ 内 容 口から食べることが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2014年11月1日（土）
  - ・ 場 所 由利本荘看護学校
  - ・ 従事者人員 20人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 45人
  - ・ 支 出 額 0円（NPO法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会との共催のため支出なし）
- エ 第9回広島実技セミナー（アドバンスコース）
- ・ 内 容 臨床現場での困難症例におけるベッドサイドスクリーニング評価から、より安全で効率的な経口摂取の開始や食事支援がはかれるスキルアップを目的に企画された実技講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2014年12月13日（土）
  - ・ 場 所 日本赤十字広島看護大学
  - ・ 従事者人員 20人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 39人
  - ・ 支 出 額 448,262円
- オ JSPEN2015 ハンズオンセミナー
- ・ 内 容 口から食べることに困難がある方々の、食べたい希望を叶えるための食事介助方法を、講義と実習を交え分りやすく伝える講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2015年2月13日（金）
  - ・ 場 所 神戸ポートピアホテル
  - ・ 従事者人員 25人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 120人
  - ・ 支 出 額 152,450円
- カ 第10回熊本実技セミナー（基礎コース）
- ・ 内 容 口から食べることが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2015年2月21日（土）
  - ・ 場 所 熊本リハビリテーション病院
  - ・ 従事者人員 15人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 46人
  - ・ 支 出 額 374,977円

- キ 第11回東京実技セミナー（基礎コース）
- ・ 内 容 口から食べることが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2015年3月7日（土）
  - ・ 場 所 ラックヘルスケア株式会社 東京オフィス
  - ・ 従事者人員 15人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 32人
  - ・ 支 出 額 290,209円
- ク 第12回秋田実技セミナー（基礎コース）
- ・ 内 容 口から食べることが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2015年3月21日（土）
  - ・ 場 所 由利本荘看護学校
  - ・ 従事者人員 20人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 38人
  - ・ 支 出 額 0円（NPO法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会との共催のため支出なし）
- ケ 第13回気仙沼実技セミナー（基礎コース）
- ・ 内 容 口から食べることが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2015年5月2日（土）
  - ・ 場 所 気仙沼市立病院
  - ・ 従事者人員 25人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 70人
  - ・ 支 出 額 19,930円
- コ 第14回東京実技セミナー（スキルアップコース）
- ・ 内 容 口から食べることが困難な方が口から食べられるようになること、食べ続けられるようになることを支援するために、支援者のスキルアップをするための実技講習会を開催した。
  - ・ 開 催 日 2015年5月17日（日）
  - ・ 場 所 ラックヘルスケア株式会社 東京オフィス
  - ・ 従事者人員 15人
  - ・ 対 象 者 医療・福祉関係者 29人
  - ・ 支 出 額 239,813円

サ KTSM 実技認定制度

- ・ 内 容 要介護高齢者のQOLを維持・向上していくために、安全・安楽・自立性を意図したより効率的なアプローチができる質の高い実務者を全国で輩出したいと考えこの制度を2014年9月より開始した。実技認定制度を行うことで、各地域での実技セミナー開催が可能となり、経口摂取継続に必要なケア技術や指導力の向上が図れると考えられる。加えて、多職種がアドバイザーとなることで、各職種からの専門的な知識・技術を共有でき、口から食べ続けたいと願う当事者や家族へ実践的サポートができる人材の拡充になる。
- ・ 開 催 日 通年
- ・ 場 所 各実技セミナー終了後に実技試験を行う。
- ・ 従事者人員 10人
- ・ 対 象 者 当法人の会員かつ受験資格を有するもの（2015年5月現在、KTSM実技認定者36名）
- ・ 支 出 額 0円

④ 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業

- ・ 内 容 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との情報の共有及び情報交換を目的とした連絡会の設置・運営
- ・ 開 催 日 通年
- ・ 場 所 法人事務所
- ・ 従事者人員 2人
- ・ 対 象 者 医療・福祉関係者、一般市民、一般企業
- ・ 支 出 額 0円

(2) その他の事業

- ① 口から食べることを補助するための物品の販売に関する事業
- ・ 実施しなかった
  - ・ 支出額 0円

## 活動計算書

平成26年6月1日から平成27年5月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会

(単位:円)

科目	金額		
<b>I 経常収益</b>			
1. 受取会費			
入会受取会費	297,000		
年間受取会費	2,245,000	2,542,000	
2. 受取寄附金			
受取寄附金	299,000	299,000	
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	160,000	160,000	
4. 事業収益			
口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業収益	2,424,000		
口から食べるのが困難な方に対する支援に関する事業収益	0		
口から食べるのが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業収益	2,589,000		
口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業収益	1,628,000		
口から食べることを補助するための物品の販売に関する事業収益	0	6,641,000	
5. その他収益			
受取利息	1,024		
雑収益	168,015	169,039	
経常収益計			9,811,039
<b>II 経常費用</b>			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	80,000		
人件費計	80,000		
(2) その他経費			
旅費交通費	1,680,537		
通信運搬費	33,244		
消耗品費	269,267		
印刷製本費	520,229		
燃料費	2,594		
光熱水料費	80,300		
賃借料支出	181,056		
諸謝金	573,033		
支払寄付金	10,000		
雑支出	899,689		
その他経費計	4,249,949		
事業費計		4,329,949	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	1,909,800		
法定福利費	267,567		
人件費計	2,177,367		
(2) その他経費			
会議費	1,021		
通信運搬費	196,893		
消耗品費	515,134		
修繕費	17,362		
賃借料	194,440		
租税公課	75,607		
支払寄付金	300,000		
雑支出	680,233		
その他経費計	1,980,690		
管理費計		4,158,057	
経常費用計			8,488,006
当期経常増減額			1,323,033
税引前当期正味財産増減額			1,323,033
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			1,323,033
前期繰越正味財産額			3,265,952
次期繰越正味財産額			4,588,985

※ 今年度はその他の事業を実施していません。

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	0	0	0	0
役員借入金	279,060	134,743	0	413,803
合計	279,060	134,743	0	413,803

3. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	内役員及びその近親者との取引
(活動計算書)		
給料手当	1,909,800	1,909,800
活動計算書計	1,909,800	1,909,800
(貸借対照表)		
未払金	127,107	127,107
役員借入金	413,803	413,803
貸借対照表計	540,910	540,910

貸 借 対 照 表

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成 27年 5月 31日現在

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	5,182,130		
前払金	453,720		
流動資産合計		5,635,850	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,635,850
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	127,107		
前受金	401,000		
預り金	104,955		
流動負債合計		633,062	
2 固定負債			
長期借入金	413,803		
固定負債合計		413,803	
負債合計			1,046,865
III 正味財産の部			
正味財産			4,588,985
(当期正味財産増加額(減少額))			1,323,033
負債及び正味財産合計			5,635,850

財 産 目 録

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成 27年 5月 31日現在

特定非営利活動法人の名称		特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会	
科 目		金 額	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金		0	
みずほ銀行普通預金		5,182,130	
前払金			
第3回大会		453,720	
流動資産合計		5,635,850	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			5,635,850
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
人件費(5月分給料)		127,107	
前受金			
第3回大会		55,000	
第15回東京実技セミナー		346,000	
預り金			
源泉所得税預り金		61,029	
社会保険料預り金		43,926	
流動負債合計		633,062	
2 固定負債			
長期借入金			
役員借入金		413,803	
固定負債合計		413,803	
負債合計			1,046,865
正味財産			4,588,985

# 特定非営利活動法人人口から食べる幸せを守る会定款（案）の件

定款 第1章 第2条 法人の事務所設置場所の変更の件

変更事項に係る新旧比較対照表

新	旧
<p><b>第1章 総則</b> (名称) 第1条 この法人は、特定非営利活動法人人口から食べる幸せを守る会という。</p> <p>(事務所) 第2条 この法人は、主たる事務所を神奈川県伊勢原市に置く。</p> <p>第2章 ～ 略</p>	<p><b>第1章 総則</b> (名称) 第1条 この法人は、特定非営利活動法人人口から食べる幸せを守る会という。</p> <p>(事務所) 第2条 この法人は、主たる事務所を神奈川県厚木市に置く。</p> <p>第2章 ～ 略</p>

## 定款の変更理由

### 第1章第2条関係

(理由)

当法人では、設立時に本部を神奈川県厚木市にある小山珠美理事長の自宅を設定した。また、事務所を神奈川県厚木市船子131-1に開設していた。その後、平成27年2月に事務所を閉鎖した。その後、平成27年5月に理事長が転居したため、主たる事務局を厚木市に設置できなくなった。そこで、主たる事務局を神奈川県伊勢原市に変更することとしたい。

附) 今回の変更事項は、定款登記事項に該当するため、総会終了後に法務局への手続きを必要とする。  
今回の変更事項は、定款変更届出事項に該当するため総会終了後に神奈川県への手続きを必要とする。

# 監事監査報告書

特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会  
理事長 小山 珠美 殿

私は、特定非営利活動法人口から食べる幸せを守る会の第2期、平成26会計年度（平成26年6月1日から平成27年5月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

## 監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び活動計算書の監査を実施しました。

## 記

### 監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、活動及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

平成27年 6月22日

特定非営利活動法人 口から食べる幸せを守る会

監事 田口 哲



# 平成 27 年 度 事 業 計 画 書

法人の名称 特定非営利活動法人口から食べる幸せを守る会

## 1 事業活動方針

広く一般市民に対して、口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業、口から食べるのが困難な方に対する支援に関する事業、口から食べるのが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業、口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業を行うことにより、地域の保健、医療の増進及び社会教育の推進を図り、もって広く公益に寄与するために下記事業を継続、推進する。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 口から食べることの重要性についての普及・啓発に関する事業

- ・内 容 口から食べることの重要性及び正しい理解を深めることを目的とした講演会を企画・開催する。
- ・日 時 平成27年 7月11日 神奈川県横浜市
- ・場 所 神奈川県民ホール
- ・従事者人員 100名
- ・受益対象者 医療・福祉関係者、一般市民 400名
- ・予 算 3,500,000

#### ② 口から食べるのが困難な方に対する支援に関する事業

- ・内 容 口から食べるのが困難な方及びその家族を対象とした、治療・介護・保険制度等について、電話・メール・面談等による相談の受付及び情報の提供
- ・日 時 通年
- ・場 所 法人事務所
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 口から食べるのが困難な方及びその家族 20名/月
- ・予 算 100,000

#### ③ 口から食べるのが困難な方への支援に携わる医療従事者等に対する知識・技術の向上のための支援に関する事業

- ・内 容 1) 医療従事者等に対する口から食べるのが困難な方への支援についての知識・技術の向上を目的とした研修会・講習会の企画・開催  
2) 実技認定制度に基づいた実技認定士の認定
- ・日 時 年5回  
平成27年 6月14日 東京都港区  
平成27年 8月29日 秋田県由利本荘市  
平成27年 9月26日 山梨県塩山市  
平成27年10月10日 沖縄県沖縄市  
平成27年12月12日 広島県廿日市市
- ・場 所 日本国内の公共施設
- ・従事者人員 各回20名
- ・受益対象者 医療・福祉関係者等 50名/回
- ・予 算 2,500,000

④ 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との協力・支援に関する事業

- ・内 容 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等との情報の共有及び情報交換を目的とした連絡会の設置・運営
- ・日 時 通年
- ・場 所 法人事務所
- ・従事者人員 2名
- ・受益対象者 口から食べることの重要性についての普及・啓発を行う個人・団体・企業等 20団体／月
- ・予 算 200,000

(2) その他の事業

- ① 口から食べることを補助するための物品の販売に関する事業
- ・実施する予定はない